

2 年 進 路 だ よ り ～ 2 年 生 の 夏 休 み の 過 ご し 方 ～

2006 年 7 月

もうすぐ夏休みです。高校生活の折り返し地点が迫ってきました。夏休み明けからの高校生活の後半は、いよいよ受験へのカウントダウンが始まります。この夏休みから受験に向けたスタートを切れるように、気持ちを引き締めて、有意義な夏休みを過ごしましょう。

1 . 受験に向けた学習をスタートしよう

2 年生の夏休みの学習は大学入試に直結しています。この夏の成果が受験を制する、といっても過言ではありません。ぜひこの夏休みから受験を意識した学習をスタートさせましょう。

15 受験勉強のスタート時期

選択肢	クラス	A 層	E 層
1 年生の 3 学期以前（春休みより前）		3.5%	1.3%
1 年生の春休み		8.8%	2.2%
2 年生の 1 学期（4 月以降）		19.8%	12.3%
2 年生の夏休み		24.0%	15.0%
2 年生の 2 学期（9 月以降）		14.4%	14.2%
2 年生の冬休み		8.9%	9.3%
2 年生の 3 学期（1 月以降）		9.2%	11.6%
3 年生になってから		10.5%	26.6%

A 層・E 層のデータは2006年度スタディーサポート2年生第1回全国集計結果より。A 層は成績上位20%、E 層は下位20%の回答率です。

上のデータを見てみると、A 層では、受験勉強をこの夏休みから始めようと考えている人が2 割を超え、すでに始めている人も合わせると半数を超えます。E 層では、3 年生になってからと考えている人が多いようですが、受験勉強は少しでも早くスタートすることが大切です。

A 層では半数以上が2 年生の夏休みまでに受験勉強をスタート。

2 . 進路について考えよう

時間がある夏休みは、進路についてじっくりと考えるよい機会です。まだ進路を決めていない人は、この夏休みに本やインターネットを活用して、いろいろと調べてみましょう。

「オープンキャンパス」に参加しよう！

夏休みは、各大学で「オープンキャンパス」が実施されます。

大学概要の説明・キャンパスの案内・大学の学部・コースなどの質問等を行うことができます。

2 年生で早すぎるということはありません。実際に、大学の雰囲気に触れることも大事です。時間に余裕があるなら、是非参加してください。受験に対して、今以上に意欲が湧いてくるはずです。この大学で学びたい、こういう学問をしてみたい、充実したキャンパスライフを送りたい、様々に考えさせられるはずです。オープンキャンパスに参加できなくても、教室や進路の部屋に置いてある受験雑誌等の大学入試広報課に電話をして、見学を申し出ることもできます。

3 . 夏休みの学習計画を立てよう

夏休みを有意義に過ごすためには、事前にしっかりと学習計画を立てておくことが大切です。計画を考えるときは以下のポイントに注意しましょう。

1 . 「夏休みを4 つに分けて」計画を立てる

夏休みは長いので、学習計画を考えるのが難しいという人も多いと思います。そこで、夏休みを次の4 つの時期に分けてみましょう。

7 月下旬 8 月上旬 8 月中旬 8 月下旬

それぞれの時期に何に取り組むかを考えると、学習計画が立てやすくなると思います。

2 . 無理のない計画を立てる

学習の内容を確実に理解していくためにも、詰め込みすぎない計画を立てるようにしましょう。週に1 日「予備日」を設けるなど、予定通り進まなかった場合に計画の遅れを取り戻すための時間を用意しておくことも大切です。

3 . 課題を最優先で学習する

まずは夏休みの課題を確実に終わらせることを最優先にしましょう。夏休みの課題には、これまでの学習のポイントが多く含まれているので、課題にしっかり取り組むことで、復習もできます。

4 . 苦手分野の復習に取り組む

時間がある夏休みは、苦手分野を克服するチャンスです。不得意だと感じている教科をここでしっかりと復習しておけば、受験勉強もスムーズにスタートできます。

5 . 毎日の学習の記録をつける

何時間学習したか、計画通りに学習できたかを毎日振り返り、記録するようにしましょう。毎日振り返ることで、すぐに軌道修正を行うこともできます。

4 . 夏休みの予定

二年生夏期進学補講

時間割・実施教室は、教室の掲示を見て各自確認してください。
申し込んだ生徒は、忘れずに出席すること。

全統高2 模試 8 月20 日（日）

まだまだ、暑い時期ですが申し込んだ生徒は、休むことなく受験してください。
夏休みの、勉強の成果を試す場でもあります。今後、3 年生にむけて、校外模試が増えてきます。希望者受験のものもありますが、大学・短大進学を考えている生徒は、必ず受験するものと心がけてください。試験になれるとともに自らの成果を確認するために活用してください。

1 年 進 路 だ よ り

2006 年 7 月

～ 高校生活最初の夏休みを有意義に過ごすために～

いよいよ高校生になって初めての夏休みがやってきます。時間が自由に使える夏休みですが、この夏休みをどのように過ごすかは、今後の高校生活にも大きく影響してきます。今からしっかりと計画を立て、充実した夏休みを送りましょう。

1．夏休みに十分な学習時間を確保しよう

時間がある夏休みは、進路についてじっくりと考えるよい機会です。まだ進路を決めていない人は、この夏休みに本やインターネットを活用して、いろいろと調べてみましょう。

「オープンキャンパス」に参加しよう！

夏休みは、各大学で「オープンキャンパス」が実施されます。大学概要の説明・キャンパスの案内・大学の学部・コースなどの質問等をすることができます。

2 年生で早すぎるということはありません。実際に、大学の雰囲気に触れることも大事です。時間に余裕があるなら、是非参加してください。受験に対して、今以上に意欲が湧いてくるはずです。この大学で学びたい、こういう学問をしてみたい、充実したキャンパスライフを送りたい、様々な考えさせられるはずです。オープンキャンパスに参加できなくても、教室や進路の部屋に置いてある受験雑誌等の大学入試広報課に電話をして、見学を申し出ることもできます。

一年生夏期進学補講

第 期 7月24日(月)～7月28日(金)

第 期 7月31日(月)～8月4日(金)

第 期 8月7日(月)～8月11日(金)

第 期 8月21日(月)～8月25日(金)

1 限 8 : 4 0 ~ 1 0 : 0 0

2 限 1 0 : 1 0 ~ 1 1 : 3 0

3 限 1 2 : 3 0 ~ 1 3 : 5 0

時間割・実施教室は、教室の掲示を見て各自確認してください。
申し込んだ生徒は、忘れずに出席すること。

＊ 第 期に成績不振者対象の基礎補習も実施されます。
指名された人は、ここで挽回できるよう、しっかり集中して勉強しましょう！

全統高1模試 8月20日(日)

まだまだ、暑い時期ですが申し込んだ生徒は、休むことなく受験してください。
夏休みの勉強の成果を試す場でもあります。今後、3 年生にむけて、校外模試が増えてきます。希望者受験のものもありますが、大学・短大進学を考えている生徒は、必ず受験するものと心がけてください。試験になれるとともに自らの成果を確認するために活用してください。

2．夏休みを有意義に過ごそう～夏休みのポイント～

1．夏休みの日課表を作成しよう

補習や部活動などの予定をもとに、夏休みの日課表を作りましょう。

ポイント

起床・食事・就寝、学習の時間を固定する

夏休みも生活リズムを一定に保つことが大切です。学習を始める時間も決めておき、毎日同じくらいの学習量を確保できるようにしましょう。

2．夏休みの学習計画を立てよう

課題や自分の弱点を克服するための学習計画を立てましょう。事前にしっかりと計画を立てておくことが、夏休みにスムーズに学習するためのポイントです。

ポイント

「夏休みを4 つに分けて」計画を立てる

夏休みは長いので、学習計画を考えるのが難しいという人も多いと思います。

そこで、夏休みを次の4 つの時期に分けてみましょう。

7月下旬 8月上旬 8月中旬 8月下旬

それぞれの時期に何に取り組むかを考えると、学習計画を立てやすくなります。

無理のない計画を立てる

学習の内容を確実に理解していくためにも、詰め込みすぎない計画を立てるようにしましょう。週に1日「予備日」を設けるなど、予定通り進まなかった場合に計画の遅れを取り戻すための時間を用意しておくことも大切です。

課題を最優先で学習する

まずは夏休みの課題を確実に終わらせることを最優先にしましょう。夏休みの課題には、7月までの学習のポイントが多く含まれているので、課題にしっかり取り組むことで、復習もできます。

苦手分野の復習に取り組もう

時間がある夏休みは、苦手分野克服のチャンスです。不得意だと思うところがある人はぜひこの夏休みに復習に取り組んでみましょう。

毎日の学習の記録をつける

何時間学習したか、計画通りに学習できたかを毎日振り返り、記録するようにしましょう。

3．進路について考えよう

秋には科目選択の本登録が行われます。これは、進路選択の最初の段階です。これから進みたい方向がはっきりと決められていない人は、時間のある夏休みに、「大学で何を学びたいのか」「将来どんな仕事に就きたいのか」など、自分の将来の夢についてじっくりと考えてみましょう。

また、夏休みは多くの大学でオープンキャンパスが行われています。ぜひ参加してこれから進路を決めていく上での参考にしましょう。